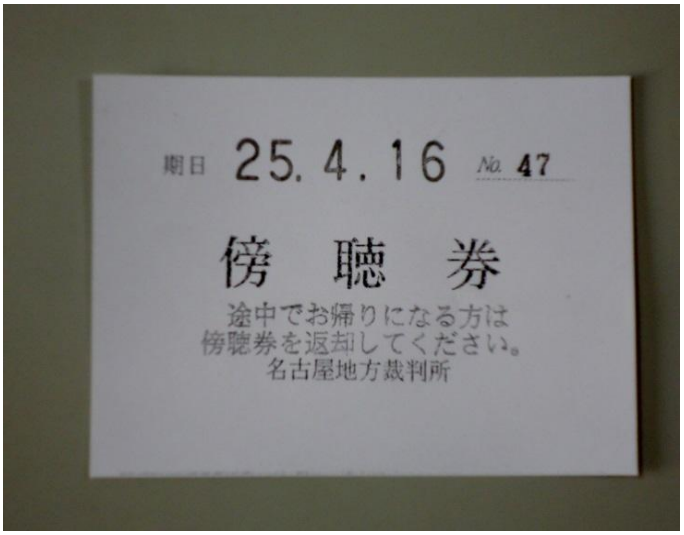
２０１３年
４月３０日
瀬戸同胞生活情報誌
우리동네
第４号

◆編集・発行：瀬戸同胞生活相談綜合センター
〒４８９－０８０５　愛知県瀬戸市陶原町１丁目５７番地
TEL　０５６１－８２－４６７４
FAX　０５６１－８２－７８５５

「高校無償化」愛知国家賠償訴訟、第１回口頭弁論



朝鮮学校が「高校無償化」制度から除外されたことへの慰謝料を求めて、愛知朝鮮中高級学校の生徒（当時）、卒業生らが日本国を相手取って起こした裁判の第１回口頭弁論が４月１６日、名古屋地方裁判所で行われました。この日、名古屋地裁前には、裁判を傍聴するために早くから多くの保護者、同胞、関係者、日本市民ら２００余人が詰めかけていました。（写真）

口頭弁論では、弁護団の内河恵一団長が、原告たちにとっての朝鮮学校の必要性と「無償化」制度施行以降、政治外交上の問題を理由に日本政府が行ってきた差別的対応について言及。国のこうした政治的対処が「日本国憲法によって保障されている基本的人権の侵害であり違憲である」としながら「その救済を司法の判断に求めざるをえなくなった」と指摘した。

一方、原告（朝高卒業生）男女２人はそれぞれ朝鮮学校に対する思いを自らの言葉で述べました。男性の原告は、「朝鮮学校は同じ境遇に置かれている仲間と出会わせてくれた場所」であり「日本社会で唯一、自分の民族、祖国に触れ、民族の文化を学べる場所」と強調。女性の原告は、「ウリハッキョが自分の居場所」としながら、「常に差別される環境がつきまとう日本でも朝鮮人としての自分を見失うことなく、自分の民族に誇りを持ってこられたのもウリハッキョがあったからだ」と強調した。さらに二人は、「高校無償化」制度から朝鮮学校を除外した日本政府に憤りをあらわにしながら、「在日朝鮮人の子供たちの人権が侵害されたままの状態は絶対に容認できない。日本政府が差別を認め過ちを正すまで声をあげ続ける」と述べました。原告二人の真摯な陳述を聞きながら裁判官は何を思い何を感じたのでしょうか。戦いは始まったばかりです。

瀬戸同胞花見＆焼肉交流会

晴天の４月１４日（日）恒例の瀬戸同胞花見・焼肉交流会が同胞家族と関係者７４名が参加し第７初級学校運動場で行われました。

今年は桜の開花が早く、学校の桜はもう散っていましたが、当日、支部が準備した焼肉と女性同盟オモニ達の手作りパンチャンで冷たいビールを飲みながら楽しい会話の花を咲かせました。

また今年は東海朝鮮歌舞団に公演をしてもらい歌に踊りと大いに盛り上がりました。久しぶりにオケチュムと統一列車です。歌舞団トンムたちコマッスンミダ。最高でした。

今年の花見には大事な日本の友人も参加してくださいました。朝鮮高校への無償化実現の為に大きな力になって活動をしていただいている、愛知県立大学准教授である、山本かほりさんです。山本さんは、安英美愛知朝鮮中高級学校オモニ会副会長と一緒に、集まった同胞たちに、今、行われている高校無償化裁判について、わかりやすく説明し理解と協力を求めました。集まった同胞の皆さん達は、すぐさま裁判支援の募金箱に気持ち良く寄付をしてくださいました。さすがウリトンポはあったかい。本当にコマッスンミダ。

最後はこれもお決まりの朝青トンムたちのビンゴゲームです。お米あり、デジカメあり大盛り上がりでした。

今日の会を成功させる為、沢山の協賛品を商工会役員をはじめ有志の方たちからいただきました。カムサハムミダ。やはり同胞がたくさん集まることはいいことですね。もっともっと同胞の皆さんが参加され喜んでくれる意義のある集まりを開催していきたいと思います。（実行委員会）

祝・第７初級学校　卒園・卒業、入園・入学式

愛知朝鮮第７初級学校の卒園式（３月１６日）、卒業式（３月１７日）、入学式・入園式（４月７日）が行われました。６年間の初級学校生活の思い出を胸に中級学校への新たな出発をする５人の卒業生たち、３年間の幼稚園生活が終わり新１年生になった２人、幼稚園に新たに入園した可愛い女の子。子供たちの涙と笑顔が印象的でした。子供の笑顔にまさるものは無しです。

日本で生まれた在日朝鮮人として、子供たちの未来のために、今、われわれが何をしなければいけないのか。子供たちの笑顔に答えるべく、大人たちが深く考え、行動に移さなければいけません。民族教育を守り発展させていくため更なる頑張りが必要です。沢山の方たちの応援が必要です。一人一人の力は小さいけれど、それが一つになったとき大きな力になるはずです。

瀬戸地域・愛知県の行事スケジュール

５月１９日（日）愛知朝鮮中高級学校大運動会
５月２６日（日）第３回　瀬戸支部分会対抗ソフトボール大会（午後１：００　祖東中学校グランド）
６月２３日（日）愛知朝鮮第７初級学校チャリティーコンサート

〖알림-알림-알림〗

子供たちの未来のために！

日時:２０１３年６月２３日(日)

会場：瀬戸蔵つばきホール

【開場】１３：００　【開演】１３：３０

入場券　５，０００円

《祝・女性同盟愛知結成６５周年特別記念公演》

女性同盟結成６５周年を記念して、女性同盟愛知が主催した特別公演「オモニの愛は代を継いで」が４月２０日、大府市勤労会館で行われました。当日会場は女性同盟メンバー、同胞、朝鮮学校生、関係者ら７００余人が集まりました。１００人の同胞女性が出演したオープニング合唱「私たちの行く道」から始まり、一世オモニ達の合唱、若い世代の女性たちの歌と踊りなど祖国への感謝と子供たちへの愛情を情緒豊かに歌い舞う姿に、会場からは拍手喝采が送られました。公演には、県内の８０代～３０代の同胞女性２００余人が出演。瀬戸支部からは７名が出演しました。１年をかけての練習の成果が観客の感動を呼びました。本当にご苦労様でした。感動をコマッスンミダ。

編集後記

今から６５年前の４月、在日朝鮮人の民族教育を守るため兵庫をはじめ各地同胞が立ち上がった４・２４教育闘争で先代たちは民族の将来の為、体を張って勇敢に闘った。それから６５年、日本政府の執拗な弾圧が続く。高校無償化からの朝鮮学校の排除、各都道府県での学校助成金の支給停止、町田市教育委員会は小学校の子供たちを守る防犯ベルまでも朝鮮学校には支給しないと決定し、日本の市民からも批判を浴びた。日本政府の共和国敵視政策が在日朝鮮人差別をあおっている。初めて入った名古屋地裁で朝鮮学校への思いを切々と語る朝高卒業生（原告）の言葉を聞きながら先代から受け継がれた不屈の精神と知恵が私たちの運動の現場でもっともっと花開き未来を照らすよう、4・２４教育闘争６５周年のこの年に！(李)